

2019年2月8日

## 企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会  
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2019年2月7日と8日に、東京で会合を開催しました。この会合は、高品質なグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で25回目となりました。

会合では、ASBJ及びFASBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が関心を有している項目である「企業結合及びのれんの会計処理」、「財務業績の報告及び開示」、「リースの会計処理」並びに「負債と資本の区分」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き、意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2019年の後半にノーウォークで開催する予定です。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回の会合では、国際的に議論されているプロジェクト及びそれぞれの法域における活動の中で識別された論点に関し、建設的な議論が行われた。企業活動が国際的に進展し、財務報告の比較可能性がより重視される昨今の経済環境において、このような会合を通じて各論点の意見交換ができたことは非常に有意義であった。」

ラッセル・ゴールデンFASB議長は次のように述べています。

「ASBJとの会合は、グローバルな資本市場にとって有益な高品質な会計基準を実現するために重要である。意見交換は、我々が各利害関係者からの今日における財務報告に対するニーズを満たす基準の改善及び開発を行う上で役立つだけでなく、将来に向けた新しいアイデアをもたらすフォーラムとなるものである。」

ゴールデンFASB議長はさらに次のように述べています。

「過去数年間にわたり、我々は退任する小野行雄ASBJ委員長と協力して取り組む榮譽に預かってきたが、小野ASBJ委員長がFASBとの会合を主導するのは本日が最後となった。我々は、FASB及び他の基準設定主体とともに高品質な財務報告を推進する小野ASBJ委員長の業績に深く感謝し、今後のご活躍を祈念する。また、我々は、次期ASBJ委員長小賀坂 敦氏を歓迎し、このような互いに有益な議論を、この先も長年にわたり継続することを楽しみにしている。」

## 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照いただきたい。

## 米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASBは、1973年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いている。FASBは、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されている。FASBの基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されている。FASBは、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表している。米国財務会計財団（FAF）は、FASBの支援及び監督を行う。詳細な情報は、ホームページ ([www.fasb.org](http://www.fasb.org)) をご参照いただきたい。